

一人一人が花を咲かせよう

それぞれの得意分野を伸ばして、一人一人が輝こう



○2024年、どんな年にしたいですか？

2年生の皆さん、保護者の皆様、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

1月1日夕方の能登半島地震には、大変驚き、怖い思いをされたのではないのでしょうか。今まだ大変つらい思いをされている被災地の方々に思いを寄せ、自分たちが安全に過ごせていることに感謝して、災害への備えを十分に直視して日々を過ごしたいと思っています。

さて、新しい年を迎えて、お正月には「こんな年にしたい」という思いや志を立てた人もたくさんいるでしょう。特に今年は3年生になるので、いつもより気を引き締めているのではないのでしょうか。

1年生の時は、「根っこを深く」伸ばし幹を太くし、2年になって、それぞれの得意分野を伸ばして「花を咲かせる」。そして、いよいよ3年になって、「立派な実を結ぶ」。そんな学年になってほしいと願っています。

今年は、春江中学校の最高学年となるだけでなく、自分の進路を決定する大切な年になります。それぞれがもっている、成長の実をしっかり実らせ、「実りある3年間だったなあ」と、後から誇らしく振り返られるような年にしましょう。

私たちは、そんな2年生の皆さんを、心から応援しています。



○立志

11月から12月にかけて、総合的な学習の時間をつかって、「立志」について学びました。「立志」とは、今の自分を見つめ、将来の自分を考え、志を立てること。これは、幕末の福井藩士であった橋本左内が、数え年15歳で「啓発録」を記したことによります。

- 一、「推心を去る」(子どもっぽい甘えたい心を捨て去ること)
- 一、「気を振るう」(決して人には負けないぞと思うこと)
- 一、「志を立てる」(夢や目標を持ち、自分の心に従って突き進んでいくこと)
- 一、「学に勉める」(目標に向かって勉強に励むこと)
- 一、「交友を択ぶ」(自分の欠点を叱ってくれる友達を選ぶこと)

上記の五訓が、啓発録には書かれていました。

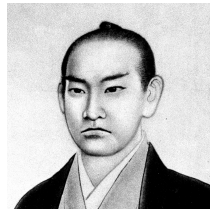
それぞれが立てた志を文章にしたり、短冊に清書したり、保護者に向かってプレゼンテーションしたりしました。「立志の集い」の集会は行いませんでしたが、自分を見つめる作業(作文を書いたり人に説明したりすること)で、十分大人になる準備はできていったのではないのでしょうか。

以下に、2年生が短冊に書いたすばらしい『志』の一部を紹介します。

- ・感情を表に出しすぎない。
- ・すぐ諦めない。
- ・人の意見に流されない。
- ・だれにでも平等に接する。
- ・言い訳をしない。
- ・広い心を持つ。
- ・気遣いの心を持つ。
- ・考えて言葉を選ぶ。
- ・自分で決めたことは実行する。
- ・約束を守る。
- ・誘惑に負けない。
- ・小さなことにも全力で。
- ・継続する力をつける



- ・優先順位を考える。
- ・マイナス言葉は、NGワード。
- ・思いついたら、即実行する。
- ・寛大な心を持つ。
- ・初心を忘れない。
- ・自己管理をしっかりする。
- ・嫌なことも一生懸命する。
- ・己を見る。
- ・人に優しく、自分に厳しく。
- ・人のことをしっかり見る。
- ・「サボる」のをやめる。
- ・メリハリをつける。
- ・準備は前日にする。



○1月の予定

4日(月)	集金引落日
9日(火)	3学期始業式 水曜日課
10日(水)	火曜日課 清掃あり
15日(月)	常任委員会 清掃なし
15日(月)	～教育相談週間

参考までに 3年生進路関係日程

4日(木)	～私立推薦・スポ文出願
9日(火)	～県立推薦出願
13日(土)	高専推薦入試
16日(火)	県立・私立推薦入試
17日(水)	高専推薦合格発表
18日(木)	～3年生三者面談
19日(金)	～私立一般入試WEB出願

○防災授業

12月11日(月)の理科の授業で、全クラスが、防災士の方から防災についての心構えや準備について、お話を聞きました。1月1日には、「能登半島地震」が起こり大きな被害がありました。坂井市も震度5の揺れがあり、慌てましたね。私たちも、いつどんな大きな災害に遭遇するかわかりません。それも、自宅やふるさとではないところで、遭遇するかもしれないのです。理科の授業でお話を聞きましたが、防災に関しては、家庭科や社会の授業でも関連した内容を扱っています。自分の、家族の、そして地域の方々の生命を守る大切な話です。ご家庭でも、準備物や避難場所、連絡方法などを、ぜひ話し合ってください。

○小中連携・・・6年生がやってきた！

少し前になりますが、11月30日(木)、小中連携事業がありました。来年度入学する現在小学6年生の生徒がやってきて、授業を体験したり、部活動を見学したり、中学校生活について在校生から説明を聞いたりしました。あなた方も2年前にありましたね。早いもので、もう在校生として説明する側に立ったのですね。

生徒会執行部、2年生代議員が準備を重ねてきました。説明した生徒の感想を紹介します。



- ・6年生達は、とても緊張していた。どうやって緊張をほぐそうか困った。
- ・質疑応答の時、数名しか手を挙げてくれなかったけど、グループを回って聞いたらたくさん質問が出てきて、しっかり答えることができた。
- ・みんな、部活やテストに興味があることがわかった。歳は離れているけれど、仲良くなることができた。中学校の楽しさを伝えることができたと思う。

- ・「いじめってあるんですか？」という質問があったとき、小6の子達は、なんか少し入学するのが怖いんだなと思った。だから、次の中1の子達が怖い思いをせずに楽しい学校生活を送っていきけるような春中にしたいと思った。
- ・みんなの前で話したり説明したりすることは、とても緊張するし、難しかった。先生はすごいなど、改めて思った。
- ・プレゼンは原稿を読むだけでなく、自分でも考えて、「問いかけ」をして盛り上げるように工夫した。



○不審者対応訓練を実施

11月27日(月)の6限目に、訓練ということで、なんと不審者が二人も侵入してきました。二人というのは、春江中学校の訓練としては初めてです。生徒たちが教室で、ドアの前にバリケードを築き、椅子を持って身構えます。静かにしている間に、教員が『さすまた』や椅子を持って追い詰めました。訓練といえども、奇声を上げ、凶器を持った犯人役と対峙するのは、緊張しました。あってはならないことですが、いざというときのための貴重な訓練の時間となりました。

○リーダー研修会

12月15日(金)午後、坂井地区の「中学生のつどい」が、ZOOMで開催されました。坂井地区の7中学校の生徒会役員が参加し、ONLINEでつながりました。「各学校の校則の違いからよりよい校則について考える」や「3年生を送る会の構想」などをテーマに、紹介したり話し合ったりしました。

